

令和8年7月10日

報道機関 各位

本間恵美子氏による平和について考える講演会(7/16)

◆本件のポイント！

- ・本間恵美子氏は、2024年にノーベル平和賞受賞に被団協の代表として参加されました。
- ・受賞の意義や平和について、大学生に向けて本間氏が語ります。
- ・被爆者二世の役割や、本間氏自身のこれまでの歩みについても触れていただきます。

◆本件の概要

(本間氏による講演の概略)

2024年、日本原水爆被害者団体協議会(被団協)は、ノーベル平和賞を受賞しました。しかし、そこに至る道の中には多くの被爆者の努力と苦難があった事を忘れてはなりません。広島・長崎の当時の状況と、授賞式の様子をご紹介します。また、私自身喜寿を迎えるにあたり、いくつかの人生?のターニングポイントを経験してきたので紹介させて戴きます。

◆本件に関する写真



◆概要内容

日 時 2026年7月16日(木) 10:30-12:00

会 場 島根大学法文学部棟 2階 207教室

主 催 「日米文化比較講義」(主担当教員・宮澤文雄)

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

宮澤文雄(法文学部教員)

miyazawa[at]soc.shimane-u.ac.jp

【添付資料: ☒あり (1 枚) ☐なし】



日米文化比較講義
特別講演

今こそ平和を

～ノーベル平和賞授賞式に参加して～

講師 本間 恵美子 氏
(島根県原爆被爆者協議会会長)

日時 7月16日 (木)
10:30-12:00

会場 法文棟2階 207

参加 どなたでも受講可

「2024年、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）は、ノーベル平和賞を受賞しました。しかし、そこに至る道のりには多くの被爆者の努力と苦難があった事を忘れてはなりません。広島・長崎の当時の状況と、授賞式の様子をご紹介します。また、私自身喜寿を迎えるにあたり、いくつかの人生？のターニングポイントを経験してきたので、紹介させて戴きます。」

問合せ先 宮澤（法文学部）
miyazawa@soc.shimane-u.ac.jp